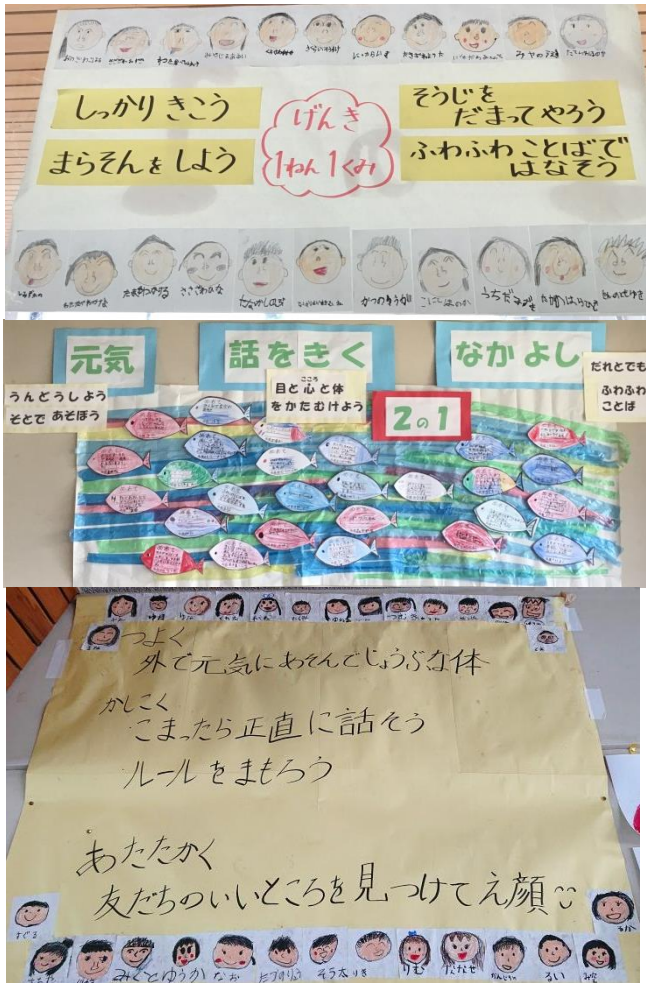


## みんな元気に一学期が終わりました

1学期終業式で全校の皆さんに話された校長講話の内容を載せます。  
題名「やさしさは想像力でふくらむ」



「今日で一学期が終わります。74日間の登校日数でした。

今日は、2つの事をお話しします。一つは、各学年のクラス目標についてです。もう一つは、夏休みについてです。

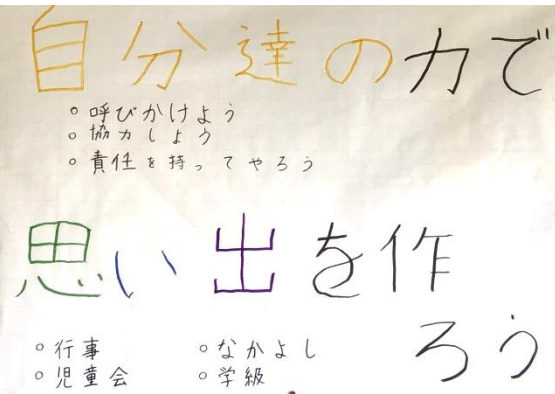
各学年では、先生とみなさんで考えクラス目標を作りました。どのクラスも学校目標を大切にしながら、素晴らしい目標を考えてくれました。そこで、1年生から自分たちのクラス目標の発表と1学期できたところ、これから2学期にむけてがんばっていくことを紹介してもらいます。みなさん、友だちの発表をしっかりと聞いてください。発表をする人が多いクラスは、時間の関係で自己紹介は省略しています。では、はじめます。

どうでしたか。どのクラスもクラス目標について一生懸命発表をしてくれましたね。2、3学期で、ぜひクラス目標が達成できるようにしましょう。

さて、夏休みについてのお話をします。

夏休みは、いろいろなことを体験したり、挑戦したりするととても良い機会です。子どもの頃に体験したことが豊かな人ほど、大人になって、やる気や生きがいを持っている人が多いという調査があります。今のうちに、たくさんの体験をしてみてください。たとえば、





- ①不思議に思ったことや興味を持ったことを調べてみる。
- ②海や川で貝を捕ったり、魚を釣ったりする。
- ③夜空に輝く星を観察する。
- ④山の中へ昆虫を捕まえに行く。⑤野鳥を見る、鳴き声を聞く。
- ⑥朝ラジオ体操を毎日続ける。

- ⑦お祭りに参加する。
- ⑧夏休み帳の中にある作品を作ってみる。
- ⑨家族のために料理を一人で作るなど自分が体験したことのないことにぜひ挑戦してみてください。

そして、8月は、祈りの月です。校長先生も生まれていなかった70年以上前の8月6日、9日に広島、長崎に原子爆弾が

落とされました。あわせて何十万人もの人が命を落とし、放射能によって被害を受け、その人たちが今でも亡くなっています。この写真を見てください。長崎で原爆が落とされた場所から400mにあったガラスの瓶です。3000度を超える熱によって、溶けてしまっています。この写真は、原爆の熱により人間が蒸発してなくなり、その影だけが石に残っています。戦

争によって日本だけが原爆をおとされた国で、二度とこのような爆弾が使われないことを祈る日でもあります。そして、8月15日は、太平洋戦争、第二次世界大戦が終わった日です。日本はこの戦争に敗れ、およそ310万人以上の犠牲者をだし、全世界では6000万人を越える人が亡くなりました。残念ながら、今でも戦争とは言わないまでも、世界では紛争が続いています。この機会にみんなで平和について考えてください。休み中、戦争についていろいろな番組が放送されるでしょう。ユネスコ憲章の前文には、「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和の砦を築かなければならない」とあります。「心の中に平和」とは何でしょうか。それは、「人の気持ちがわかる優しさ」ではないでしょうか。以前テレビでこんなCMを放映されていました。「どんな気持ちかな。空が飛べたら。雨のしずくになったら。魚になったら。月になったら。うさぎになったら。いじわるされたら。どんな気持ちかな。ひとりぼっちって、どんな気持ちかな。想像してみよう。いろんな気持ち。」とありました。夢も優しさも、想像力から生まれる。人の気持ち、人の痛みのわかる想像力、優しさが「心の中の平和」につながるのでは、ないでしょうか。

明日から28日間の夏休みです。健康でけがや病気、事故のない休みにしましょう。8月23日(金)始業式。日に焼けた元気なみなさんに会えることを楽しみにしています。」

ご家庭の皆様、地域の皆様のお力添えに深く感謝申し上げます。夏休み中は、子どもたちが学校を離れ、ご家庭や地域で生活します。安全で楽しい夏休みになりますよう、ご指導ください。そして、2学期もどうぞよろしくお願い申し上げます。